

始良市子ども・子育て会議 会議録（要点筆記）

会 議 名	令和4年度第4回始良市子ども・子育て会議	
日 時	令和5年2月13日（月）18:30～19:35	
会 場	始良公民館 第1・2会議室	
出 席 者	委 員	有村委員、秋宗委員、大川委員、杉尾委員、長尾委員、小門口委員、矢野委員、茶園委員、駒倉委員、益森委員、田畑委員、倉岡委員、藤塚委員 計12名 欠席者：山野委員、藤谷委員、杉尾委員 計3名
	市職員等	保健福祉部部長 子どもみらい課長、保育係長、母子保健係長、子ども政策係3名 計8名
傍 聴 人	0人	
<p>【第4回始良市子ども・子育て会議】</p> <p>審 議</p> <p>① 認可保育所の新設について</p> <p>② 第2期始良市子ども・子育て支援事業計画（中間見直し版）（案）について</p> <p>報 告</p> <p>① 始良市子ども館（子育て支援拠点施設）について</p> <p>その他</p>		
資料1	認可保育所の新設について	
資料2	市町村における事前協議に係る証明書について	
資料3	第2期始良市子ども・子育て支援事業計画（中間見直し版）案	
資料4	始良市子ども館について（実施設計）	
資料5	始良市子ども館について（運営方針（案））	
資料6	第2期始良市子ども・子育て支援事業計画（審議1が承認された場合）	
<p>審議</p> <p>① 認可保育所の新設について</p>		
（事務局）	会議資料に基づき、説明。	
（委員）	現段階で定員割れをしている認可保育園や認定こども園はどの程度あるか。 令和4年4月1日現在の待機児童数が10人とのことであったとの説明があった。国全体の出生数が80万人を下回り、確実に減少傾向にあるが、現在における始良市における待機児童の見通しについて教えてほしい。	

(事務局)	<p>始良市内には 32 の施設がある。全体では、定員 1,884 人に対して現員が 1,964 人ということで、充足率としては 100%を超えている状況である。充足率が 100%に達していない施設は、12 月 1 日時点で 9 箇所となっている。</p> <p>待機児童については、例年 4 月に厚生労働省に報告を行うわけだが、今年度は 10 人であった。昨年度は 17 人であり、減少傾向にはあるが、年度途中に申し込みがあり、昨年 12 月の時点では 37 人ほど待機児童が発生している状況であった。今後については、現在、来年度に向けた 1 次選考を行っているが、昨年度より申込件数が多い状況にある。今後、2 次選考、3 次選考を行っていくこととなるため、現時点で待機児童の見込みについてはっきりしたことは分からないが、申込数が昨年度を上回っているというのが現在の状況である。</p>
(委員)	<p>新しい施設として認可保育園が認可されるということである。そういったことも必要かもしれないが、現在地域の核となっている地域に密着した施設、40 年、70 年といった長い期間、地域の子どもたちを懸命に育てられてきた既存の民間保育園等も育成していくことも大事だと思う。その灯が消えるようなことになれば、卒園生や一緒に過ごした地域の住民にとっても寂しいことではないかと思う。これ以上認可保育園等を増やすことが、既存の、私たちの保育園にとっては非常に危機的な状況になるのではないかと感じている。数字としては待機児童が 37 人という説明があった。あと 30 人定員を増やせればということになるのかもしれないが、既存の施設でも定員の 120%までは数字的には対応できるわけであり、それによって随分埋めることもできるのではないかと思う。そのようなことも考えていただきたいと思う。この場で採決を行うということについても、判断材料がどの程度あるのかと感じている。ただ賛成か反対かという判断をするというのは、少々乱暴ではないかというふうにも思うし、もう少し情報がほしいと思う。考えてほしいと思う。</p>
(事務局)	<p>担当課としては、これまで地域で子どもたちを見守っていただいている認可保育所や認定こども園について、非常にありがたく思っている。委員より、定員割れの話が出されたが、令和 5 年度分の 1 次募集で 11 月末までに申し込みのあった人について施設に案内をしたところである。そのあと、12 月、1 月に申し込みのあった人については、2 次募集、3 次募集といった形で進めていくが、昨年度より申込者が多い状況にあるとともに、今後転入する世帯もあることから、4 月にはほぼほぼ埋まっており、定員割れといったことにはならないのではないかと予想している。委員より意見のあった育成については、既存の頑張ってもらっている施設にも引き続き子どもを預かってもらうようお願いをする。なお、設置認可については県が行うものであり、始良市では、市の現状について意見書を提出する。本日寄せられた委員の意見も含めて、意見書という形で県に提出をしたいと考えている。</p>
(委員)	<p>2 点質問があるが、まず 1 点目は、申請のあった設置法人については他の自治体での実績はあるのか尋ねたい。</p> <p>2 点目は、先ほどの定員割れの意見に関連して、保育士がいなかったために定員分を確保できないといったことがあるのかなど、職員の充足率や雇用の状況等について尋ねたい。</p> <p>始良市から短大に通っている学生の中には、霧島市で働く人も当然多いが、最近では条件が良ければ伊集院まで通勤する人もいる。鹿児島市は家賃補助を始めた。始良市から通わなくとも、鹿児島市に住めば家賃補助がもらえるということで、一気に鹿児島市に流れるような傾向が出てきている。市としての保育士等の充足について今後の見通し、意見等について尋ねたい。</p>

(事務局)	<p>他の地域における当該事業所の実績については、始良市外の県内自治体において、直営による小規模認可保育所を1箇所運営している。また、鹿児島市を中心に企業主導型保育事業等の運営委託という形で10箇所を運営している。さらに、認可保育所の運営とは少し異なるが、児童発達支援事業や放課後児童クラブの運営も行っているということである。保育士確保の観点について、当該事業所に確保方策について確認を行ったところ、グループ会社にて保育所等の運営支援事業を行っており、保育士確保の支援業務も行っているとのことであり自社で保育士を確保するノウハウがあるとのことである。また、グループ内で雇用をしている保育士もいるため、人事異動等による確保も可能とのこと。したがって、認可された場合には確実に人員が確保できるということであった。</p> <p>市としての保育士の確保について、鹿児島市は家賃補助を行っているということであったが、始良市では単独で何かしらの補助をということは行っていない。</p> <p>国の保育対策事業の活用に関する案内を行っている。保育士の業務量軽減のため、保育の資格を持っていない人を雇用し、保育に関わらない食事の提供や園内の消毒などを担ってもらうことで、保育士の処遇改善を図るものであり、活用してくださいということ案内を行っている。</p>
(委員長)	他に意見がないようであれば、本日寄せられた意見を踏まえ、市から県へ意見書の提出を行うということ、この会議における結論としたいがそれでよいか。
(委員)	同意する声あり。
審議	
② 第2期始良市子ども・子育て支援事業計画（中間見直し版）（案）について	
(事務局)	会議資料に基づき、説明。
(委員)	以前の会議において、かじきっずを閉鎖して、新しい子ども館に集約するというような説明があったと思うが、資料3の18ページ「③一時預かり事業」における幼稚園型以外の確保方策の令和6年度の箇所数が1増となっている点が気になった。かじきっずを閉鎖して子ども館が新設されることが反映されているのか尋ねたい。
(事務局)	<p>新設する子ども館においては一時預かり事業を実施予定であるが、現在かじきっずでは実施していないことから、令和6年度は1か所増となっている。</p> <p>資料3の16ページ「①地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）」の確保方策については、令和4年度以降の箇所数を横ばいとしている、令和5年度までかじきっずで行っているものが、令和6年度には統廃合により、子ども館での実施に代わる。かじきっず分の1減、子ども館分の1増ということで反映した数値となっている。</p>
(委員長)	意見等がないようである。 中間見直し版について承認するというものでよいか。
(委員)	同意する声あり。
報告	
① 始良市子ども館（子育て支援拠点施設）について	
(事務局)	会議資料に基づき、説明。

(委員)	資料5の2ページ「始良市子ども館（子育て支援拠点施設）を整備する背景」において、「子育てに対する不安や負担、孤立感を感じながら」という文言があるが、「孤立感を感じながら」と“感“が重なっている。孤立感を抱くとか持つとかいった表現が考えられるように思う。「不安や負担を感じる」というのは理解できるが、「孤立感を感じる」というのは違和感がある。
(委員)	資料4の5ページ「2階平面図」を見た時に、トイレが少ないように感じる。子ども用のトイレはあるのか。
(事務局)	設計図の右上に、子ども用のトイレとしてキッズトイレを設けている。
(委員)	このトイレについては介添えするために保護者も一緒に入れるようになっているのか。
(事務局)	広めに設計しているため、介助、介添えしながらでも利用してもらうことができるような仕様となっている。
(委員)	資料4の5ページ「2階平面図」の非常階段部分を見ると、2階部分にはプラチェーンの記載があるが、1階部分には何か対策が行われるのか。
(事務局)	1階部分には中に入れないようにするためのチェーンをする予定である。非常時のみの利用で通常は使用できない階段としている。
(委員)	前回の会議において、調査結果が共有された。600件程度回答のあった自由意見の中で、子ども館等において、何か参考とした意見があったかというのが1点。 資料5の5ページ「④成果指標（アウトカム）」における「全天候型子ども館の利用者満足度」について、何を持って作成されたのか教えてほしいというのが2点目である。
(事務局)	アンケート調査の自由意見をどの程度参考にしたかという質問であったかと思うが、たくさんの意見をもらった。その中で天候に関わらず子どもたちが思い切り遊べる施設がほしいとの意見をたくさんいただいた。今回示した資料では遊具等の配置がないため分かりづらいとは思いますが、子どもの遊ぶ広場には大型の遊具等を設置し、子どもたちが思い切り遊べるスペースも確保してある。保護者が子どもを遊びに連れてくるとともに、気軽に悩みを相談したり、保護者同士が交流してママ友・パパ友を作ってもらったりといった形でも利用してほしいと考えている。 一時預かりについて、理由に関わらずみてほしいとの意見も多くあったため、子ども館での一時預かりの実施も予定している。 また、始良市においてどのような子育て支援が行われているのか情報がほしいといった意見もあったため、利用者支援事業の実施も予定している。始良市内でどのような子育て支援が行われているのか情報発信を行う場所としても子ども館を利用してほしいと考えている。自由意見としていただいた意見については、このような形で子ども館において実現させていきたいと考えているところである。 満足度については、新規指標ということで現状値はない。開設以降に市民に対する満足度調査等を実施していく予定であり、満足度が8割くらいなければ、施設を作った意味がないと考え、80%を目標値として設定した。満足度が6割程度であれば、満足したとは言えないのではないかと考え、80%を最低ラインとして捉えた上で設定を行ったところである。
(委員)	資料4の4ページ「1階平面図」の駐車場について、入口の記載はあるが、出口の記載はない。出口の記載は必要ないのか。

(事務局)	設計図右下に入口を設けている。駐車場内については、中で一周できるような形となっているものの、全体の流れとしては一方通行となっている。出口については、設計図の左上に「止まれ」の表記があるが、こちらが出口であり、出口専用となる。「出口」という表記を行うよりも、歩道を通過することになることから、「止まれ」という表記により注意喚起を行う形での設計としている。
(委員)	今後、運営に関する細かい点を決めていくことになると思うが、親子で来館した場合には必ず受付を通して利用の手続きを行うものだと考えるが、利用対象の上限に近い小学3年生に近い子ども同士で来館した場合、それをストップするような対応を行うのか。また、親子で来場して子どもが子ども用スペースで遊んでいる間、親もその場に待機しておかなければならないのか、館内であれば、相談などの他の場所を利用できるのか。具体的に決まっていることなどがあれば教えてほしい。
(委員)	基本的には子どもだけの利用はできない、親子で来館して利用する施設とすることを考えている。親子で来館して、親が相談をしている間に関する質問であったかと思うが、細かい設定について、親が相談するためにその場を離れなければならないといったことも想定した上で、職員の中で対応等をどのようにしていくか、運営方針を決める中で今後詰めていきたい。
その他	
(事務局)	会終了後でも気付いた点・質問等があれば、事務局へ連絡いただきたい。今年度の子ども・子育て会議は今回で終了となるが、来年度以降も開催予定であるため、引き続き協力をお願いしたい。
(事務局)	令和4年度第4子ども・子育て会議を閉会